

五島市まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン・総合戦略
(アクションプラン)



平成28年5月
五島市市長公室

はじめに

五島市においては、人口の現状と将来の姿を示し、これからの目指すべき将来の方向を提示する「五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を平成27年12月に策定をしました。

策定にあたっては、市民アンケート、高校生アンケートの実施、各種団体への聞き取り調査や、産官学金労言の代表者で構成する「五島市まち・ひと・しごと創生推進会議」を通して、市民の皆様からの意見を反映しております。

「総合戦略」の推進にあたっては、「4つの基本目標」のもとに、具体的な施策ごとに設定した「124の重要業績評価指標(KPI)」の達成に向け、アクションプランを取りまとめたところです。

なお、アクションプランについては、総合戦略との整合性を十分図りながら、全KPIを達成するための取り組みとして、成果・効果検証、改善を重ねながら積極的に展開して参ります。

アクションプラン本文の見方

【記載例】

【基本目標1】 五島の恵みを活かし、雇用を生み出す”しま”をつくる										
数値目標	単位	現状	H28	H29	H30	H31	目標	数値根拠ほか		
市内就業者数	人	13,096 (H26年度)					(H31年度)	経済センサス(基本調査、活動調査)		
市内事業所数	事業所	2,396 (H26年度)					(H31年度)	経済センサス(基本調査、活動調査)		
求人数に対する正社員の求人数割合	%	34.9 (H26年度)	38.7	42.5	46.3	50.0	50.0 (H31年度)	ハローワーク資料提供		
1-(1)農林業振興プロジェクト										
重点事業 担い手の育成と農地の集積										
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)						工程(年度別事業計画)				
						H27	H28	H29	H30	H31
新規就農者:7人/年 10人/年						7人/年	10人/年	10人/年	10人/年	10人/年
新規就農者の確保・育成 地元就農希望者やUターン者の就農を促進するため、市内外への募集強化と農林公社の研修生受入体制の充実を図ります。認定新規就農者に対し、青年就農給付金を給付するとともに就農後のフォローアップを行い、経営の安定につなげます。										
【具体的な事務事業(H28)】										
五島市担い手育成確保特別対策事業			五島市青年就農給付金事業							

「五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に掲げる基本目標

は、「重要業績評価指標(KPI): 基準値 目標値」を記載。

は、重点事業項目、具体的な施策の概要を記載。

各年度毎の数値目標を記載

【基本目標1】 五島の恵みを活かし、雇用を生み出す”しま”をつくる

数値目標	単位	現状	H28	H29	H30	H31	目標	数値根拠ほか
市内就業者数	人	13,096 (H26年度)	→	→	→	→	→ (H31年度)	経済センサス(基本調査、活動調査)
市内事業所数	事業所	2,396 (H26年度)	→	→	→	→	→ (H31年度)	経済センサス(基本調査、活動調査)
求人数に対する正社員の求人割合	%	34.9 (H26年度)	38.7	42.5	46.3	50.0	50.0 (H31年度)	ハローワーク資料提供

1-(1) 農林業振興プロジェクト

重点事業① 担い手の育成と農地の集積

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■新規就農者:7人/年 ⇒ 10人/年 ●新規就農者の確保・育成 地元就農希望者やUIターン者の就農を促進するため、市内外への募集強化と農林公社の研修生受入体制の充実を図ります。認定新規就農者に対し、青年就農給付金を給付するとともに就農後のフォローアップを行い、経営の安定につなげます。	7人/年	10人/年	10人/年	10人/年	10人/年
【具体的な事務事業(H28)】					
五島市担い手育成確保特別対策事業 五島市青年就農給付金事業					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■認定農業者:293人 ⇒ 維持 ●認定農業者の経営規模拡大及び農業法人の育成 地域農業の中核である認定農業者の経営規模拡大や、農外参入法人や個人農家が発展的に法人となる取り組みを支援します。また、現在の農業法人に対しても、販路拡大活動を支援します。	290人	293人	293人	293人	293人
【具体的な事務事業(H28)】					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■担い手への農地集積率:53.0% ⇒ 73.6% ●集落営農の推進と地域担い手への農地の集積 農業集落における「人・農地プラン」を推進し、モデル地区の設置やリーダーを育成しながら、合意形成を促進し、集落営農の組織化を図ります。農地中間管理事業に取り組み、耕作放棄地の解消と、農地集積による経営規模の拡大や作業の効率化を図り、農業所得の向上につなげます。	53.0%	55.7%	58.4%	61.1%	63.8%
【具体的な事務事業(H28)】					
農地中間管理事業 多面的機能支払交付金					

1-(1) 農林業振興プロジェクト

重点事業② 生産基盤整備の充実

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■水田区画整備率:63.7% ⇒ 69.1%	63.7%	63.7%	63.7%	68.0%	69.1%
■耕作放棄地面積:748a ⇒ 448a	748a	673a	598a	524a	448a
●新規就農者の確保・育成 久賀地区、寺脇地区ほか基盤整備を進め、小区画の水田を大区画に整備し、用水の安定確保や水田の汎用化、大型機械の導入など、生産性の向上を図るとともに、担い手への農地集積による経営規模拡大を図り、自立し得る農業を確立します。また、農道及び、橋りょうの改修・補修を計画的に推進します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
県営経営体育成基盤整備事業(面的集積)(牟田地区、大宝地区)			県営農地整備事業(一般)(久賀地区)		
県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)(鏡瀬地区)			県営保全合理化事業(水管理システム更新)(岐宿地区)		

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■地元産木材地元消費量:1,211m ³ ⇒ 2,200m ³	※	1,400m ³	1,500m ³	1,600m ³	1,700m ³
■地元産木材製材品の島外出荷量:0m ³ ⇒ 600m ³	※	460m ³	510m ³	550m ³	600m ³
※H27実績値については、8月頃確定予定。					
●林業生産基盤の整備 林道の改修・補修を計画的に推進し、林業者の通行の安全と作業効率を向上させ、就労の確保と雇用の創出につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
美しい森林づくり基盤整備交付金 林道丹奈線・中岳、丸山1号線			育成林整備事業 林業専用道川原線		
森林管理道南部憩坂事業負担金			森林総合研究所 森林整備センター分収造林事業(受託)		

1-(1) 農林業振興プロジェクト

重点事業③ 農業生産の環境整備と資源活用

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■有害鳥獣による農産物被害額:12,741千円 ⇒ 8,918千円	※	11,212千円	10,447千円	9,683千円	8,918千円
※H27実績値については、H28年6月確定予定					
■中山間協定農用地面積:975ha ⇒ 1,150ha	1,010ha	1,045ha	1,080ha	1,115ha	1,150ha
●農業生産機能の維持 農業集落における農業生産活動が継続的に行われるよう耕作放棄地の発生防止や、環境保全型農業に取り組む農業者への支援などを推進し、農業生産機能を維持します。また、イノシシ・シカなどの有害鳥獣による農作物などの被害防止、農業機械や農業施設の導入支援に取り組み、農業生産の環境を整備します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
農作物等有害獣対策事業		台湾リス被害防止総合対策事業		中山間地域等直接支払交付金事業	
環境保全型農業直接支援対策事業					

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■学校給食における地場産物(野菜)利用量割合:56.6% ⇒ 65.0%(H32)	56.6%	58.28%	59.96%	61.64%	63.32%
●地産地消の推進 学校給食はもとより、公共施設(医療施設・福祉施設など)、地元飲食店、小売店に地元農産物の積極的な活用を推進し、地産地消を拡大します。					
【具体的な事務事業(H28)】					

1-(1)農林業振興プロジェクト

重点事業④ 農畜産物の生産振興

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■転作作物(麦・大豆・そば・なたね)の作付面積:59ha ⇒ 69ha	47ha	52.5ha	58ha	63.5ha	69ha
●水田の有効活用と経営所得安定対策の推進 水田農業における経営の安定化を図るため、米の需給調整や、転作作物の拡大、収益品目の導入、裏作の推進など、水田を有効活用します。					
●産地計画に基づいた園芸作物の振興 「産地計画書」に基づき、葉たばこ・ブロッコリー・高菜などの土地利用型作物や、スナップエンドウ・アスパラガスなどの施設園芸作物の生産を拡大します。					

【具体的な事務事業(H28)】

燃油価格高騰対策事業 土地利用型作物需要開発事業 構造改善加速化支援事業

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■繁殖雌牛飼養頭数:3,941頭 ⇒ 4,850頭	3,941頭	4,086頭	4,200頭	4,555頭	4,850頭
■1戸当たりの繁殖雌牛飼養頭数:14.0頭 ⇒ 18.0頭	14.0頭	14.5頭	15.2頭	16.7頭	18.0頭
■子牛生産頭数:3,194頭 ⇒ 4,000頭	3,194頭	3,473頭	3,570頭	3,871頭	4,000頭
●肉用牛(繁殖)の増頭や、肥育牛の生産拡大を目指した生産基盤の整備 繁殖雌牛4850頭に向け、畜産クラスター構築事業などに取り組み、牛舎の新・増設や飼料生産機械の整備、優良繁殖雌牛の導入を支援するとともに、畜産ヘルパーやコントラクター制度、キャトルステーションの充実など生産の分業化を推進します。また、経産牛の肥育を推進し、農家所得向上に取り組めます。					

【具体的な事務事業(H28)】

死亡獣畜取扱場設置事業 畜産クラスター構築事業 優良繁殖雌牛導入事業
 構造改善加速化支援事業(畜産分) 肉用牛繁殖雌牛預託事業補助金 五島市家畜農協有導入事業
 五島市家畜特別導入事業 肉用牛経営活カアップ事業(大規模経営ステップアップ支援事業)

1-(1) 農林業振興プロジェクト

重点事業⑤ 6次産業化による経営力向上

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ 公共建築物等への地元産木材利用量: 200m ³ ⇒ 330m ³	73m ³	300m ³	100m ³	30m ³	340m ³
<p>● 加工品開発の推進 高菜加工、ワイン醸造、製茶など、地域資源を活かした地場産品の開発を支援し、農業の6次産業化(高付加価値化)を推進します。</p> <p>● 地元産材の活用 切捨間伐から利用間伐への転換をすすめ、施業の集約化によるコスト低減、担い手(人材)の育成、生産体制(機械、設備)の整備を推進します。 また、公共建築物の木造化・木質化を進め、地元産木材の活用を広げるとともに、間伐材のフリッチ材・製材品への加工と島外出荷を軌道に乗せ、計画的な出荷量の拡大により、森林所有者の所得向上と雇用の創出・拡大を図ります。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
森林整備地域活動支援交付金事業			森林環境保全直接支援事業		

1-(1) 農林業振興プロジェクト

重点事業⑥ 販路拡大・ブランド化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ 椿油生産量: 13.4kl ⇒ 30.1kl	19.5 kl	20.4 kl	21.9 kl	25.3 kl	30.1 kl
<p>● 椿油の増産への取り組み 椿実収穫量の増加を図るため、椿台帳の整備、収穫方法の見直し、収穫体制の確立などに取り組み、椿油の増産と関連商品の開発につなげます。</p> <p>● 2020年国際ツバキ会議など椿関連のイベント開催と施設整備 2020年国際ツバキ会議(仮称)の成功を目指し、国内外に五島椿を発信します。また、地域資源である「椿」を最大限に活用した椿関連のイベント開催と施設整備に取り組み、地域の活性化を図ります。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
椿植栽推進事業		環境林整備事業(自生椿林整備事業)		椿園改修工事	
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ 戦略産品出荷量: 5,011t ⇒ 5,961t	4,717t	5,391t	5,581t	5,771t	5,961t
● 輸送コストの軽減 離島の不利な条件を解消するため、国境離島新法を活用した農林産物や資材などの輸送コストの低減に取り組み、都市部への販路拡大と出荷量の拡大を図ります。					
【具体的な事務事業(H28)】					
戦略産品海上輸送費支援事業					

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■五島ブランドの認知度: - ⇒ 初回調査+10.0% ※都市部でのアンケート実施後、目標数値を設定する予定。 ●五島牛、五島豚ブランド化 肥育生産体制の整備強化と肥育技術の向上を推進し、増頭、増産を図るとともに、五島牛、五島豚を市内外にPRし、認知度を高め、販路を拡大します。また、食肉センターの稼働率の向上を図ります。	※	※	※	※	※
【具体的な事務事業(H28)】					

1-(2)水産業振興プロジェクト

重点事業① 後継者・担い手育成

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■新規就漁者数(独立型): 2人/年 ⇒ 維持 ●後継者・担い手への漁業研修制度の充実 独立型や雇用型の就業形態に応じた支援制度や、漁業種類に応じた技術研修制度を推進するとともに、就業後の定着促進のための研修制度の充実を図ります。	0人/年	2人/年	2人/年	2人/年	2人/年
●Uターンと連携した担い手育成 都市部でのUターン者説明会において、新たに漁業を志す者への支援制度、研修制度などの情報を提供し、漁業への就業者の増加につなげます。					
●水産系大学などと連携した人材育成 水産系大学、水産関係団体と連携し、水産振興推進連絡協議会を立ち上げ、養殖・水産加工の研究や鮮度保持の講習会などを開催することで、水産振興に資する人材を育成します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
新規漁業就業者育成確保事業(独立型) 新規漁業就業者育成確保事業(雇用型) 産官学連携交流事業					

1-(2)水産業振興プロジェクト

重点事業② 漁業生産力・経営体制の強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■1経営体当たり平均漁獲金額: ※5,019千円 ⇒ ※5,521千円 ※H25基準値誤りによる、基準値、目標値訂正 ●漁港の機能向上 漁港合併による機能強化を図るとともに、海洋再生エネルギーやマグロ関連産業などの水産業と密接に関係する産業の活性化につながる漁港施設の機能向上に取り組みます。	6,251千円	5,219千円	5,319千円	5,419千円	5,521千円
●漁礁・漁場の整備による生産力の向上 従来の魚礁・増殖場に加え、回遊性魚種に対する蝟集効果が高く、沿岸域での操業可能な浮魚礁を整備することにより、生産力と所得向上を図ります。					
●漁業経営体制の強化と効率化 漁業経営の強化・効率化を図るため、漁業燃油への補助、漁船・漁具などの施設整備に関する利子補給、施設の共同利用などの協業化、経営改善指導体制の構築に取り組みます。					

【具体的な事務事業(H28)】					
枕島地区(本窯・伊福貴)漁港施設(用地)整備事業	新水産業収益性向上・活性化支援事業(山下:大型製氷機整備)				
新水産業収益性向上・活性化支援事業(奈留:製氷施設用フォークリフト整備)	新水産業収益性向上・活性化支援事業(力強い経営者育成対策)				
白這線道路整備事業	五島福江地区水産物供給基盤機能保全事業				
五島東地区農山漁村地域整備交付金(漁村再生)事業	荒川漁港水産生産基盤整備事業(県営事業地元負担金)				
奥浦漁港水産流通基盤整備事業(県営事業地元負担金)	大串漁港浮棧橋撤去事業				
漁礁増殖場整備事業	五島市漁業用燃油高騰対策事業				
漁業振興資金利子補給金	離島漁業再生支援交付金事業				
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■漁業集落の漁業生産活動取り組み数:77件 ⇒ 82件	56件	79件	80件	81件	82件
※H27実績値56件、H27～離島漁業再生支援交付金の対象事業減に伴うもの					
■漁業集落の創意工夫を活かした取り組み数:45件 ⇒ 50件	34件	47件	48件	49件	50件
●藻場回復、拡大への取り組み強化 藻場の回復、拡大を図るため、各漁業集落の沿岸海域の実情に応じた施策に取り組みます。また、漁業者など活動組織と連携し、安心して活動できる漁場を維持します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島列島栽培漁業推進協議会負担金					

1-(2)水産業振興プロジェクト

重点事業③ 養殖・栽培漁業の推進

【具体的な事務事業(H28)】					
五島列島栽培漁業推進協議会負担金					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■新たな栽培事業の立上げ:15件 ⇒ 16件	15件	15件	15件	15件	16件
●新たな栽培漁業と養殖漁業の推進、支援、発掘 水産資源の維持・増大のため、漁場の特性や漁業種類に応じた放流などの栽培漁業や、マグロに加えてクエ、アカハタなどの養殖漁業を推進します。また、アオサなどの海藻養殖漁業への支援や発掘にも取り組みます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島列島栽培漁業推進協議会負担金					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■マグロ出荷量:900t ⇒ 1,350t	988t	1,080t	1,170t	1,260t	1,350t
●マグロ養殖基地化の推進と大学・企業との連携 人工種苗などによるマグロ養殖事業の環境整備を支援し、引き続き、水産系大学や企業との連携によるマグロ養殖基地化を推進します。また、マグロ養殖基地化の推進と養殖・種苗生産の研究拠点の誘致を進め、良質な雇用の場を創出します。					
【具体的な事務事業(H28)】					

1-(2)水産業振興プロジェクト

重点事業④ 6次産業化の推進

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■新たな加工・販売施設の整備件数:2件 ⇒ 7件	2件	4件	5件	6件	7件
<p>●水産加工品開発と販売体制の構築</p> <p>未・低利用の水産資源を活用した水産加工品の開発に取り組むとともに、商品開発などの先進地視察や、商品化の専門講師による講習会などを開催し、開発から販売につながる体制を構築します。</p> <p>●地産地消の推進</p> <p>海産物の郷土料理や漁師飯のほか、海鮮丼、マグロ丼など、地元産食材を使った名物料理を開発し、五島の魚のおいしさ、魅力を市内外に情報発信します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
新水産業収益性向上・活性化支援事業(力強い経営者育成対策) 五島市漁業用燃油高騰対策事業					
漁業振興資金利子補給金					

1-(2)水産業振興プロジェクト

重点事業⑤ 販路拡大・ブランド化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■戦略産品出荷量:2,852t ⇒ 4,278t	3,296t	3,422t	3,707t	3,992t	4,278t
<p>●輸送コスト低減</p> <p>離島の不利な条件を解消するため、国境離島新法を活用し、水産物の輸送コストの低減に取り組み、都市部への販路拡大と出荷量の拡大を図ります。</p> <p>また、流通システムの構築と併せて、本土地区の商品ストックヤード(冷凍、冷蔵、活魚水槽)の確保について調査・研究し、豊漁、不漁時の出荷ロスを軽減します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
戦略産品海上輸送経費支援事業費補助金					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■五島ブランドの認知度(再掲): - ⇒ 初回調査+10%	※	※	※	※	※
※都市部でのアンケート実施後、目標数値を設定する予定。					
<p>●大都市圏販路拡大(営業強化)</p> <p>広域浜プランを推進し、高い鮮度保持技術「五島メ」を習得した漁業者を認定することで、出荷技術の向上に取り組みます。併せて、東京、福岡事務所と連携し、五島の魚のおいしさと魅力を発信するとともに、都市部での営業活動を強化し、認知度の向上と販路の拡大を図ります。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
大都市圏販路拡大事業 五島鮮魚出荷技術向上対策事業					

1-(3) 物産・ブランド振興プロジェクト

重点事業① 大都市圏販路開拓

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■大都市圏(東京、福岡)での市産品取引店舗数:12件 ⇒ 86件	12件	30件	48件	68件	86件
■大都市圏(東京、福岡)バイヤー招聘による取引成約件数:0件 ⇒ 20件	—	5件	10件	15件	20件
■ギフト・ネット販売及び物産展売上額:87,642千円 ⇒ 127,000千円	87,642千円	96,500千円	105,000千円	119,000千円	127,000千円
●市場調査(ニーズ掘り起し) 大都市圏(東京、福岡など)において、インターネットなどを活用したマーケティング調査(需要調査など)を行い、多様化するニーズを的確に把握し、戦略的なPRを進めます。					
●大都市圏への販路拡大 東京、福岡事務所を拠点に物産・観光の魅力を効果的に発信するため、地元出身者ゆかりの企業などと連携し、市産品の販路拡大に取り組み、市の認知度とブランド力の向上を図ります。					
●マッチング支援(バイヤー招聘など) 都市部の百貨店、スーパーなどのバイヤーを招へいし、地元業者との商談会を開催し、新商品の開発、販路開拓・拡大につなげます。					
●輸送コスト低減 離島の不利な条件を解消するため、国境離島新法を活用し、市産品などの海上輸送コストを低減し、都市部への販路と出荷量の拡大を支援します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島物産マーケティング&プロモーション事業			県アンテナショップ活用事業		
五島フェア開催事業委託事業			五島産品販路拡大事業(マッチング支援事業委託)		

1-(3) 物産・ブランド振興プロジェクト

重点事業② ブランド体制づくり

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■市物産振興協会の売上額:103,987千円 ⇒ 179,000千円	103,987千円	124,100千円	137,600千円	161,600千円	179,000千円
●物産振興体制の強化 市産品のブランド力を高め、都市部での販路を拡大するため、五島市物産振興協会に専門的な職員を配置し、組織を強化します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島市物産振興協会補助金					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■五島ブランドの認知度(再掲): — ⇒ 初回調査+10.0%	※	※	※	※	※
※都市部でのアンケート実施後、目標数値を設定する予定。					
●市産品のブランド化 戦略的に推奨する市産品については、パンフレットなどへの優先掲載やメディアへの紹介などを実施し、ブランド化につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島かんころ餅ブランド化強化事業					

1-(3) 物産・ブランド振興プロジェクト

重点事業③ 6次産業化・新商品開発支援

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■新たな加工品の開発件数: ー ⇒ 20件	ー	5件	10件	15件	20件
●加工品開発の支援 6次産業化関連企業との連携と、先進地視察や商品化に精通した講師による講習会の開催などによる商品開発に積極的に取り組み、「かんころ餅」などの特産品の今後の展開と、新たな教会群関連の土産品や地域資源を活用した農林水産加工品の開発を支援します。					
【具体的な事務事業(H28)】					

1-(4) 商工業振興・新産業育成プロジェクト

重点事業① トップランナー育成

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■育成事業参加企業の新規雇用者数: ー ⇒ 10人	ー	ー	4人	6人	10人
■中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数: ー ⇒ 10人	ー	2人	4人	6人	10人
●経営コンサルタントによる個別指導 経営コンサルタントによる個別指導を定期的実施し、経営の安定・強化を図り、将来を担うトップランナーを育成します。					
●若手リーダーネットワークの構築 若手リーダーの異業種間交流の機会を提供し、視察研修や意見交換などを通して、ネットワークの構築につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					

1-(4) 商工業振興・新産業育成プロジェクト

重点事業② 企業誘致対策の充実

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■誘致企業数:3件 ⇒ 5件	3件	4件	4件	5件	5件
■誘致企業従業員(正社員)数:66人 ⇒ 120人	66人	70人	90人	100人	120人
●立地優遇措置の充実 現行の工場等設置奨励条例を見直すなど、進出する企業への優遇措置を充実します。					
●サテライトオフィスの誘致 遊休資産を活用し、自然の中で快適に仕事ができる環境を整えるなど、本社と情報ネットワークで結ばれた小規模事務所(サテライトオフィス)の受け皿環境を充実させ、IT系企業などの企業誘致に取り組みます。					
●企業が求める人材の育成 企業が求める人材を把握し、資格取得、技術の習得を目的とした技術研修・講座などを開催します。これらを実施することで、企業が求める人材を育成し、雇用のミスマッチの解消を目指します。					

【具体的な事務事業(H28)】					
サテライトオフィス等の誘致強化					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■五島ブランドの認知度(再掲): — ⇒ 初回調査+10.0%	※	※	※	※	※
※都市部でのアンケート実施後、目標数値を設定する予定。 ●市産品のブランド化 戦略的に推奨する市産品については、パンフレットなどへの優先掲載やメディアへの紹介などを実施し、ブランド化につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島かんころ餅ブランド化強化事業					

1-(4)商工業振興・新産業育成プロジェクト

重点事業③ 多様な人材が就労できる環境づくり

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■公的機関等の支援による障がい者就職者数: 13人 ⇒ 16人	30人	16人	16人	16人	16人
■女性の就業率: 51.5% ⇒ 66.0%	51.5%	55.0%	58.5%	62.0%	66.0%
●公的関係機関業務の再編(振興局業務の受託) 五島振興局が所管しているダムや空港、道路の管理業務などを市が受託することにより、地域経済に資する地元の安定した雇用に転換します。 ●障がい者、高齢者などが就労できる環境づくり 障害者就業・生活支援センターを支援するなど、障がい者、高齢者、子育て世代などの多様な人材が就労できる雇用の場の創出を社会的弱者の自立につなげ、多くの人が活躍できる社会を創ります。 ●女性の活躍の環境づくり 男女共同参画計画の策定や、事業所への働きかけに取り組み、女性が地域や職場においても、能力を発揮し輝くことができる社会の実現を目指します。また、その環境づくりを推進します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
障害者就業・生活支援センター運営費補助 生活困窮者自立相談支援事業					

1-(4)商工業振興・新産業育成プロジェクト

重点事業④ 安定雇用の推進と雇用創出

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■起業・創業件数: — ⇒ 12件	—	5件	8件	10件	12件
■新規就職者数: 963人 ⇒ 872人	945人	927人	909人	891人	872人
■高校生新卒者地元就職者率: 41.8% ⇒ 50.0%	40.0%	42.0%	44.5%	46.5%	50.0%
■若年層(20~29歳)就職率: 11.0% ⇒ 15.0%	10.5%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%
●中小企業の振興 中小企業振興資金などの制度を活用し、雇用の拡大、賃金アップを図り、良質な雇用の確保と中小企業の振興に取り組みます。					
●起業・創業支援の強化 国境離島新法を活用し、起業に際し障壁となっている初期投資の費用を補助するなど、起業を支援し、雇用の機会を拡充します。また、創業資金の円滑な融資による創業、第二創業、事業継承を支援し、雇用を創出します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
中小企業振興資金利子及び保証料補給	五島市起業支援補助金交付事業				
中小企業振興資金原資預託事業・創業資金原資預託事業	創業資金利子及び保証料補助				

1-(5)再生可能エネルギー産業創出プロジェクト

重点事業① 海洋再生可能エネルギーの先進地

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■実証事業にかかる企業数: 2社 ⇒ 5社	2社	2社	2社	2社	5社
■浮体式洋上風力発電設備容量: 0kw ⇒ 22,000kw	2,000kw	2,000kw	2,000kw	22,000kw	22,000kw
●浮体式洋上風力発電の実用化 環境省による浮体式洋上風力発電実証事業を次の段階へ発展させ、五島海域の可能性の高さを有効活用し、国、県と連携しながら民間投資を促すことで、浮体式洋上風力発電の実用化を図ります。そして、メンテナンスサービス業、製造業、設置・撤去工事を行う建設業など、様々な関連産業の創出と活性化により、良質な雇用の機会を確保します。ウィンドファームの実現には、基幹送電網の強化などインフラ整備が重要ですので、引き続き、国、県へ要望します。また、ウィンドファームを新たな観光資源として活用し、エコツーリズムの造成により、交流人口の拡大を図ります。					
●潮流発電の誘致 久賀島沖が潮流発電において有望な海域として、国から海洋再生可能エネルギー実証フィールドに選定されました。国、県と連携しながら、実証フィールドの整備を進めるとともに、情報発信とサービスの提供を充実させることで、各種プロジェクトや企業の誘致に取り組みます。					
●漁業・地域協調メニューの検討 海洋再生可能エネルギーの導入を考えるうえで、漁業関係者及び地域住民との協力は最も重要です。発電事業者、漁業関係者、関連事業者及び地域住民と共に利益を享受できるWin-Win方式を構築します。実証フィールドと実用化海域を、新たな漁場として有効活用し、水産業振興につなげます。また、次代を担う子どもたちには、地域の環境とエネルギーへの理解を深めてもらうため、海洋再生可能エネルギー体験学習の開催などに取り組みます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
風力発電等にかかる地域主導型の戦略的適地抽出手法の構築事業(環境省事業)					
海洋再生可能エネルギー体験学習					

1-(5)再生可能エネルギー産業創出プロジェクト

重点事業② 地域をリードする研究開発・人材育成・産業集積形成

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■再生可能エネルギーに関連した産業の雇用者増加数: - ⇒ 5人	-	5人	10人	15人	15人
■クリーンエネルギー車の普及台数:121台 ⇒ 170台	126台	130台	135台	140台	145台
<p>●水素エネルギー利用拡大</p> <p>水産総合研究センター、県、市を事務局とした離島漁業振興策研究会において、地元漁業協同組合や関係事業者と連携し、燃料電池漁船の導入の可能性やエネルギーインフラのあり方などについて検討します。また、世界遺産登録候補のキリスト教関連遺産の視察や観光への燃料電池船の活用のほか、水素製造施設や燃料電池車・船の本格稼働、導入に取り組み、離島における自立・分散型低炭素エネルギー社会の実現をめざします。</p> <p>●地域主体の企業との連携</p> <p>再生可能エネルギー分野は、開発普及が進められ、関連産業についても大きな成長が期待されます。地元企業による海洋再生可能エネルギー関連産業への参入可能性調査を行うとともに、五島市再生可能エネルギー産業育成研究会と連携し、関連産業への参入を目指す地元企業を支援します。そして、研究開発、人材育成、産業集積の形成を進め、地域に利益が循環する持続可能な経済社会の構築を目指します。</p> <p>●地域エネルギーを核とした地域活性化策の検討</p> <p>平成28年4月の電力小売全面自由化を見据え、持続可能な地域エネルギー資源を有効に活用し、付加価値の高い住民サービスや安全対策の強化を図るとともに、電力の地産地消、地産外商を通じた地域活性化策について検討します。</p> <p>●クリーンエネルギー車の普及促進</p> <p>低炭素社会の実現への取り組みを観光の振興につなげるため、クリーンエネルギー車の更なる普及促進を図り、電気自動車及び急速充電器の更新を支援し、導入を促進します。また、急速充電器のメンテナンスなどを地元事業者で実施することで、雇用を創出します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
電気自動車導入促進事業					

【基本目標2】 五島の魅力を発信し、世界に誇れる”しま”をつくる

数値目標	単位	現状	H28	H29	H30	H31	目標	数値根拠ほか
観光客入り込み客数	人	203,765 (H26年度)	222,500	234,300	247,000	260,000	260,000 (H31年度)	世界遺産登録などを見込んで算出
延べ宿泊数	泊	154,253 (H26年度)	170,000	179,000	188,400	197,000	197,000 (H31年度)	世界遺産登録などを見込んで算出
UIターン者数(ワンス トップ窓口利用者数)	人	18 (H26年度)	50	50	50	50	50 (H31年度)	50人/年×5年で目標を設定

2-(1) 観光による交流拡大プロジェクト

重点事業① 国内誘客の強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■着地型旅行商品の利用客数: 382人 ⇒ 3,300人 ●魅力ある着地型旅行商品の開発 五島市観光協会による新たな着地型旅行商品の造成などを促し、個人観光客の一層の取り込みを図ります。	2,575人	2,700人	2,900人	3,100人	3,300人
【具体的な事務事業(H28)】					
新しまとく通貨発行業務(仮称)					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■観光ガイド講習会などの受講者数: 88人 ⇒ 150人 ■観光ガイド登録者数: 53人 ⇒ 100人 ■受入のための講習会などの受講者数: - ⇒ 150人 ●新しまとく通貨制度(仮称)の創設 県内のしま市町と連携し、観光客に特化した「新しまとく通貨制度(仮称)」を創設します。	132人	135人	140人	145人	150人
●観光ガイドの育成とおもてなし研修などの開催 キリスト教の歴史紹介をはじめ、五島の魅力を伝えることができる質の高い観光ガイドを育成します。また、観光客へのおもてなし力の向上を図るため、宿泊業者を中心に先進地視察や受入研修を行うとともに、観光案内所の機能向上に取り組み、再度来島するようなおもてなしができる体制を整えます。	60人	70人	80人	90人	100人
-	-	75人	100人	125人	150人
【具体的な事務事業(H28)】					
新しまとく通貨発行業務(仮称)					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■大型船誘致数: 2隻 ⇒ 3隻 ●資源を活かした観光企画づくり 恵まれた自然や歴史は、五島特有の地域資源です。引き続き、教会群、洋上風力発電、椿、マグロなどの地域資源を交流人口の拡大に活かすとともに、新たに国の名勝指定「三井楽(みみらくのしま)」、日本遺産、山本二三美術館(仮称)などを活かした観光企画づくりに取り組みます。	1隻	2隻	2隻	3隻	3隻
【具体的な事務事業(H28)】					
大型客船誘致事業					
椿のしま!ごとう元気プロジェクト事業(椿まつり)					

2-(1)観光による交流拡大プロジェクト

重点事業② 国外誘客の強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■外国人観光客数:618人 ⇒ 1,700人	1,399人	1,500人	1,600人	1,700人	1,800人
●外国人観光客の誘客 海外(韓国、中国など)からの旅行団体の誘致を図るため、大手旅行代理店などへの情報発信、営業活動を強化します。					
●観光音声案内アプリの開発 外国人観光客をはじめ、周遊型観光・体験型観光を楽しむ観光客に対し、スマートフォンなどを利用して観光スポットなどを紹介する観光音声案内アプリの開発を行うとともに、情報の内容を充実します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
韓国人観光客誘致事業					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■外国人対応ガイド登録者数: — ⇒ 10人	13人	18人	22人	26人	30人
●観光ガイドなどの受入体制整備 外国人観光客に五島の魅力を伝えることができる質の高い観光ガイドの育成や、宿泊業者などのおもてなし力の向上を図り、受入体制を整備し、認知度を高めます。					
【具体的な事務事業(H28)】					

2-(1)観光による交流拡大プロジェクト

重点事業③ 世界遺産ツーリズム

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■世界遺産関連ツアーへの参加者数:266人 ⇒ 2,500人	1,401人	1,970人	2,150人	2,300人	2,500人
●魅力ある観光コースづくりと広域観光ルートの形成 世界遺産登録を機に、構成資産である旧五輪教会堂と江上天主堂や、歴史遺産群の堂崎教会などの魅力・物語を満喫できるツアーの造成や、魅力あるコースづくりを行います。また、世界遺産において関連する各市町(長崎市、大村市、新上五島町、小値賀町など)と連携し、周遊・滞在を促進する広域観光ルートを形成し、誘客を拡大します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
世界遺産と巡る着地型旅行商品開発事業					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■世界遺産ガイド登録者数: — ⇒ 30人	13人	18人	22人	26人	30人
●世界遺産ガイドの育成 世界遺産を機に増加する外国人観光客などにキリスト教の歴史など、きめ細かな案内ができる質の高いガイドを育成します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島列島おもてなし協議会事業					

2-(1) 観光による交流拡大プロジェクト

重点事業④ 民泊・教育旅行の強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■民泊許可軒数:81軒 ⇒ 150軒	130軒	135軒	140軒	145軒	150軒
●民泊の担い手拡大など受入体制の強化 体験型観光地としての認知度と集客力を高めるため、民泊軒数を拡大し、新規開業や環境整備への取り組みを後押しするとともに、市内11地区の受け皿組織の強化とネットワーク化を支援します。					
【具体的な事務事業(H28)】 体験型観光受入体制整備事業					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■教育旅行受入人数:666人 ⇒ 5,000人	1,398人	2,300人	3,200人	4,100人	5,000人
●特色ある体験プログラムなどの充実 他地域との差別化により集客力を高めるため、海を活かした体験プログラムの開発・充実を図るなど、島ならではの特色あるプログラムの整備を支援します。さらに、雨天時にも安心して釣りが体験できる環境の整備へも取り組みます。					
●体験型観光の誘致活動・情報発信の強化 一般旅行及び教育旅行の誘致拡大を図るため、ターゲットに応じた営業・支援ツールの整備や効果的な情報発信を強化するとともに、東京事務所・福岡事務所を活用した積極的な誘致活動を展開します。					
●民泊事業の多角化 民泊事業の多角化により誘致拡大を図るため、修学旅行や団体ツアー向けの取り組みに加え、長崎県立大学「しまなび」プログラムやイベント時の受け入れ、島暮らしを求める個人・小グループ旅行などへの対応を強化します。					
●体験型コーディネート力の強化 体験型観光の持続可能な受入システムを構築するため、五島市観光協会のコーディネート力を高めるとともに、各地区の受け皿組織や関係団体と連携しながら、官民一体となって受入体制を強化します。					
【具体的な事務事業(H28)】 五島感動しま旅！総合プロモーション事業					

2-(1) 観光による交流拡大プロジェクト

重点事業⑤ 世界ジオパークの推進

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■世界ジオパーク認定: - ⇒ 申請	-	-	-	申請	
※H30申請は、日本ジオパーク加盟申請					
●世界ジオパーク認定への取り組み 五島の豊かな自然資源は、地球科学的に重要な自然の遺産であり、文化遺産です。保全や教育、ツーリズムに活用するため、世界ジオパーク認定に向けて取り組みを進め、交流人口の拡大につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					

2-(1) 観光による交流拡大プロジェクト

重点事業⑥ 観光インフラ整備

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■4か国語表記の観光案内板、誘導板設置数:135箇所 ⇒ 200箇所	150箇所	165箇所	180箇所	190箇所	200箇所
●誘導サインなどの整備 観光客が必要とする観光情報を適切に提供するため、案内標識などの整備充実を図るとともに、外国人観光客に対応した4か国語表記の観光案内板の整備や、主要観光地において五島市マップの案内板を整備し、観光客の利便性を図ります。					
【具体的な事務事業(H28)】 観光誘導版・案内版設置業務					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■Wi-Fiなど設置箇所数:1箇所 ⇒ 21箇所	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所
■トイレ整備・改修箇所数: - ⇒ 4箇所	-	-	1箇所	2箇所	3箇所
●観光施設の整備 観光客の快適性・利便性の向上を図るため、市内の観光ルートにトイレを整備するとともに、既存トイレについても必要な改修などを行います。また、世界遺産登録を見据え、サテライトセンター(案内施設)、駐車場などの受入体制も整備します。					
【具体的な事務事業(H28)】 大瀬崎園地施設改修事業					

2-(1) 観光による交流拡大プロジェクト

重点事業⑦ ホテル・旅館などの再生

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■後継者対策制度の活用事業所数: - ⇒ 9事業所	-	3事業所	6事業所	9事業所	9事業所
■改修支援制度の活用事業所数: - ⇒ 40事業所	8事業所	16事業所	24事業所	32事業所	40事業所
■おもてなしセミナーなど参加者数: - ⇒ 90人	-	50人	65人	80人	90人
●観光産業後継者対策総合支援事業の創設 10年後を見据えた観光産業の後継者対策として総合的な支援制度を創設します。 ①観光産業の後継者対策として新たな研修制度を創設 ②観光関連施設の改修支援制度を創設 ③小規模の旅館・民宿などの利用を促進					
●ホテル・旅館などの誘致 新たなホテル・旅館などの誘致を図るため、候補地や支援制度を検討するとともに、関係事業者への継続的な情報発信などを行います。					
【具体的な事務事業(H28)】 観光産業後継者対策総合支援事業					

2-(2)UIターン促進プロジェクト

重点事業① 窓口の機能強化と情報発信

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ワンストップ窓口(仮称)への相談件数:161件 ⇒ 200件	228件	250件	250件	250件	250件
●ワンストップ窓口機能強化 移住者が、移住から定住に関する相談ができるワンストップ窓口を設置し、起業、就農、就職などあらゆる相談が可能な体制を整備します。また、ひとりひとりにきめ細かなサービスを提供できるよう窓口の充実を図り、移住後のフォローアップ体制を強化します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
UIターン促進事業(移住相談員配置)					
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■40歳未満のUIターン者の移住者数:9人 ⇒ 20人	31人	30人	30人	35人	40人
●合同UIターン説明会などの開催 県、県内離島市町と連携し、合同UIターン説明会を開催し、移住・定住希望者への情報発信、移住相談会を実施します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
UIターン促進事業(子育て世帯移住促進事業) UIターン促進事業(東京・大阪移住相談会ほか)					

2-(2)UIターン促進プロジェクト

重点事業② 受入住宅などの整備

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■短期滞在者住宅の利用者数:19人 ⇒ 30人	43人	40人	40人	45人	50人
●空き家バンクシステムの充実 移住者の定住のため、希望が多い家庭菜園付き住宅の登録数の拡大を図るなど、空き家バンクの充実に取り組みます。					
●空家再生事業の推進 移住者の定住のため、地元産木材を活用し、空家を再生する人に対し、その改修費などを支援する制度を推進します。					
●公的資産の有効活用(廃校、市営住宅など) 伝統工芸・芸術分野で活躍を目指す人の工房や、展示室としての活用について、廃校などの公的資産の情報を発信し、その有効活用を目指します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
UIターン促進事業(短期滞在住宅整備事業等)			UIターン促進事業(空き家活用促進事業)		

2-(2) UIターン促進プロジェクト

重点事業③ 就業支援の体制づくり

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■お試しツアーなどの利用者のうち移住者数: - ⇒ 5人	-	1人	3人	4人	5人
<p>●五島市インターンシップの推進 県立大学など、五島と関連が深い大学を対象に、地元企業などにおいてインターンシップを実施し、五島で働く魅力、楽しみを知ってもらう機会を創出します。</p> <p>●UIターンゆめ応援プログラム 農業、漁業を目指す若者などを対象に、農業、漁業の専門家との交流、農漁業体験、移住相談などにより、就農・就漁、移住へつながるようなお試しツアーを造成します。</p> <p>●就業支援体制の強化 UIターン希望者に対し、円滑に希望する職に就けるよう、市、関連機関、企業が連携し、サポート体制を強化します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
UIターン促進事業(夢応援プロほか)					

2-(3) スポーツを通じた交流拡大プロジェクト

重点事業① 誘致活動強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■スポーツ合宿の団体数: 71団体 ⇒ 100団体	86団体	90団体	93団体	96団体	100団体
<p>●スポーツ合宿にかかる新規営業の強化及び新たな支援制度の導入 長崎、福岡地区の高校、大学を中心にスポーツ合宿にかかる誘致を強化します。また、選手などの市内移動を支援するなど、合宿する団体の負担軽減、利便性の向上を図ります。</p> <p>●スポーツ合宿誘致体制の強化 合宿誘致にかかる専門的なアドバイス、調整ができる人材を育成し、ワンストップで対応できる誘致体制を整えます。</p> <p>●大学・有力企業などへのスポット営業 駅伝、マラソン、柔道など、特定種目に特化した有名大学、企業などへ重点的なスポット営業を強化し、定例的な合宿につなげます。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
スポーツ交流人口拡大推進事業	スポーツマネジメント人材育成事業				

2-(3)スポーツを通じた交流拡大プロジェクト

重点事業② スポーツ施設整備

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■スポーツ施設利用者数:1,217人/日 ⇒ 維持	1,217人/日	⇒	⇒	⇒	⇒
●既存スポーツ施設の整備と充実 既存スポーツ施設の改修や、スポーツ合宿誘致に寄与するトレーニング機器の新設・更新を実施することで、合宿団体数、合宿参加者数の増加と市民の施設利用者の増加につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
合宿団体移動支援事業			富江武道館改修事業		
五島市中央公園施設長寿命化計画策定事業					

2-(3)スポーツを通じた交流拡大プロジェクト

重点事業③ 地域経済活性化対策

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■スポーツ集客イベントへの参加者数: 4,575人 ⇒ 6,000人	5,026人	5,500人	5,300人	5,700人	6,000人
■スポーツ集客イベントへの開催数: 3大会 ⇒ 4大会	4大会	4大会	4大会	4大会	4大会
●地元関連業種タイアップ企画 スポーツ合宿に関連する業種(レンタカー、整骨院、マッサージ、クリーニング、飲食など)と連携したサービスが提供できる体制を整え、リピーターの増加につなげます。					
●スポーツイベントの開催拡充 五島長崎トライアスロン大会、五島列島タヤケマラソン、五島つばきマラソンなどのスポーツ交流イベントを継続して開催するとともに、ねんりんピックや各種県大会など、島外からの参加者が見込める事業にも取り組み、交流人口の拡大につなげます。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島長崎国際トライアスロン大会開催事業費		五島列島タヤケマラソン大会開催事業		五島つばきマラソン大会	
全国健康福祉祭(ねんりんピック)開催事業					

2-(4) 広報戦略プロジェクト

重点事業① 広報戦略専門組織の構築と立案

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■都市部での五島市の認知度: — ⇒ 初回調査+10.0%	—	初回調査	⇒	⇒	初回調査+10%
■ホームページアクセス数: 1,340千件 ⇒ 2,000千件	1,324千件	⇒	⇒	⇒	2,000千件
<p>●広報戦略の立案 情報発信、広報活動を取り組む分野とそのターゲットを明確にし、短期・中期・長期の情報発信・広報戦略を立案します。</p> <p>●関係機関との連携、情報収集・発信 関係部署、関係機関などと連携し、戦略をもって情報の収集・発信に取り組み、地域のイメージを高め、経営資源の獲得とその有効活用を目指します。</p> <p>●関係機関との連携、情報収集・発信 広告関連やIT関連など専門性の高い人材を登用するほか、資格の取得、技術の習得などが行えるような環境を整え、戦略的に地域を広報できる人材を育成します。</p> <p>●関係機関との連携、情報収集・発信 ふるさと市民制度やふるさと納税を通し、戦略的に五島のイメージ、五島の製品の情報を発信し、認知度の向上と物産振興につなげます。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
広報戦略立案のための調査等委託事業及び広報戦略策定	五島市観光イベント協力隊事業				
戦略的観光プロモーション事業	五島市ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)				

【基本目標3】安全・安心で住みやすさ日本一の”しま”をつくる

数値目標	単位	現状	H27	H28	H29	H30	H31	目標	数値根拠ほか
特定健康診査受診率	%	39.2 (H26年度)	40	45	50	55	60	60.0 (H31年度)	「日本一健康なしまづくり」での目標値を設定
住みやすいと感じる市民の割合	%	71.6 (H26年度)	—	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0 (H31年度)	住みよさ日本一の千葉県印西市の市民アンケート結果78.9%を超える

3-(1) 地域コミュニティ維持・活性化プロジェクト

重点事業① コミュニティ維持・再生

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ 絆交付金による地域の特性を活かしたまちづくり活動件数: — ⇒ 39件 ● 絆交付金による地域コミュニティ活動の活性化 各地区で組織しているまちづくり協議会で、地域活性化に資する活動を継続して推進していく体制を強化します。また、生活支援サービスを提供する場、住民が集う場として、集会場や廃校などの活用を検討します。 ● 小さな拠点づくり・小さな楽園づくりモデル事業 奥浦地区の「小さな拠点」事業、奈留地区の「小さな楽園」事業などに見られる買い物難民対策などの地域の課題や住民ニーズの把握とその具現化に向けた取り組み、地域の特性を活かしたまちづくりの取り組みを支援します。また、新たな地区への展開を図ります。	33件	39件	39件	39件	39件
【具体的な事務事業(H28)】 地域の絆再生事業	小さな楽園プロジェクト推進事業(奈留まちづくり協議会)				
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
■ 支所地区の強みを活かした活性化プロジェクト件数: 13件 ⇒ 15件 ● 地域の強みを活かした活性化 各地区の地域の文化、資源、強みを活かしたイベント・活性化プロジェクトなどを実施します。	14件	12件	15件	15件	15件
【具体的な事務事業(H28)】 山本二三美術館(仮称)整備事業 とんめ こみゆ×2 まつり きしくまち魚津ヶ崎ふれあい交流事業 玉之浦「まるごと体験」推進事業 荒川地区活性化プラン推進事業 なる得旅キャンペーン事業	多郎島地区公園で健康づくり 富江歴史・文化探訪散策ルート開発事業 魚津ヶ崎公園花いっぱい事業 シーカヤックマラソン大会 玉之浦の四季を感じるアートプロジェクト 奈留活きな島! あじな島づくり				

3-(1) 地域コミュニティ維持・活性化プロジェクト

重点事業② 外部人材との連携強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
<p>■地域おこし協力隊及び集落支援員数: 21人 ⇒ 維持</p> <p>●地域おこし協力隊や集落支援員と連携した地域コミュニティ活性化 地域おこし協力隊、集落支援員と地域との連携を強化し、地域の文化、資源などを活用した地域活性化プロジェクトに取り組み、地域コミュニティの活性化を進めます。</p>	21人	21人	21人	21人	21人
【具体的な事務事業(H28)】					
集落支援員事業			地域おこし協力隊事業		
具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
<p>■地域課題解消に向けた大学との連携事業数: 6事業 ⇒ 10事業</p> <p>●大学連携による地域課題の把握と解消 県立大学の「しまなび」プログラムは、フィールドワークで「しま」の課題などを把握し、学生自身が解決策や対応方法を考える教育プログラムです。この取り組みを支援し、大学と連携して地域の課題解消を図ります。また、他大学との連携も進め、地域の課題解消や活性化につながる取り組みを推進します。</p>	6事業	7事業	8事業	9事業	10事業
【具体的な事務事業(H28)】					

3-(2) 健康長寿のしまづくりプロジェクト

重点事業① 医療施設とのネットワーク構築による医療・福祉の充実

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
<p>■調剤情報システム市民加入者数: 10,432人 ⇒ 15,000人</p> <p>■生活習慣病治療におけるコントロール不良者数: 2,045人 ⇒ 1,981人</p> <p>●各機関の相互連携による高度医療、在宅医療などのサービスの提供 市、五島中央病院、薬局でつながるネットワークを他の医療施設などへ拡大し、各機関相互連携ができるネットワーク体制を整備します。調剤情報システムの活用を拡大し、疾病予防へつなげるとともに多投薬の防止などに役立て、医療費の抑制を図ります。</p> <p>●疾病の重病化予防 医療中断者、治療コントロール不良者について、医療機関と連携し、保健指導、栄養指導を行うことで在宅生活を支え、糖尿病、慢性腎臓病、高血圧症などの疾病の重病化予防に取り組みます。</p> <p>●障がい者の地域生活支援拠点整備 障がい者の高齢化、重度化などを見据え、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、相談支援、自立体験の場の提供、緊急時の受け入れなど、地域生活支援の仕組みを構築します。</p>	11,886人	12,665人	13,443人	14,222人	15,000人
【具体的な事務事業(H28)】					
地域医療情報共有化事業(調剤情報システム活用事業)			重病化予防事業		
相談支援事業 共同生活援助(グループホーム)			短期入所 生活介護 就労継続支援		

3-(2)健康長寿のしまづくりプロジェクト

重点事業② 良質な医療体制の構築

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■医師数の人口1万人対率: 17.72人 ⇒ 19.71人	18.35人	18.69人	19.03人	19.37人	19.71人
■看護師数の人口1万人対率: 84.62人 ⇒ 89.59人	84.62人	85.86人	87.1人	88.34人	89.59人
<p>●医療従事者の確保</p> <p>市民が、いつでも安心して良質な医療と、市民のニーズに応じた本土並みの医療・看護サービスが受けられるよう、五島高等学校衛生看護科の卒業生を呼び込む施策を展開するなど、医師、看護師などの医療従事者を確保します。また、計画的に診療施設及び医療機器を整備します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島市診療所施設・設備整備事業					

3-(2)健康長寿のしまづくりプロジェクト

重点事業③ 地域包括ケアシステムによる介護の充実

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■新たな生活支援サービスメニュー創出数: - ⇒ 2件	-	-	-	2件	2件
■要介護認定率: 23.54% ⇒ 21.99%	23.44%	23.04%	22.64%	22.33%	21.99%
<p>●地域包括ケアシステムの推進</p> <p>重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域全体で介護予防、自立支援ができる体制を目指します。地域課題の把握、現行のサービス体制の整理を行い、効果的、利便性の高いネットワークを構築します。</p>					
<p>●在宅医療連携の推進</p> <p>在宅医療を担う医師や訪問看護従事者で構成する在宅医療協議会を設置し、地域における連携上の課題やその解決策をまとめて在宅医療を推進します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
地域包括ケアシステム構築事業			在宅医療連携推進事業		

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■地域ミニデイの設置件数: 20件 ⇒ 50件	30件	35件	40件	45件	50件
■地域ミニデイ住民ボランティア登録者数: 94人 ⇒ 200人	100人	150人	180人	200人	200人
<p>●地域ミニデイの推進</p> <p>高齢者が公民館などの身近な場所に集まり、仲間との交流や健康づくりを通して、いきいきと生活することを目的に地域ミニデイの活動を推進します。また、町内会、老人会などにこの活動への参画を促し、その輪の拡大を図ります。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島市地域ミニデイサービス					

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■高齢者見守りネットワーク参加事業所数: 33事業所 ⇒ 35事業所	33事業所	34事業所	34事業所	34事業所	35事業所
●地元企業などと連携した見守り体制の充実 新聞配達事業者や宅配事業者などと連携し、独居老人などの見守りや買い物支援などの生活支援サービスの充実を図ります。また、ICT技術を活用した新たな見守り体制の構築を検討します。					
【具体的な事務事業(H28)】 五島市高齢者見守りネットワーク事業					

3-(2)健康長寿のしまづくりプロジェクト

重点事業④ 日本一健康なしまづくり・高齢者の生きがいづくり

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■特定保健指導実施率: 48.4% ⇒ 60.0%	31.3%	51.3%	54.2%	57.1%	60.0%
●日本一健康なしまづくり 町内会や関係団体と連携し、特定健康診査、胃がん・肺がん・大腸がんなどの検診の受診率を向上させるとともに、食事の改善、スポーツの振興、胃がんリスク検診などを推進し、「日本一健康なしま」を目指します。また、新たな健康づくりの取り組みとして、ポイント制度の導入を検討し、市民の健康に対する意識の向上を図ります。					

【具体的な事務事業(H28)】

日本一健康なしまづくり推進事業
短期人間ドック検診費補助事業

胃がんリスク検査事業

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■シルバー人材センター会員数: 178人 ⇒ 300人	210人	240人	260人	280人	300人
●地域貢献活動の推進 経験豊かな高齢者に、地域の活性化や課題解決のための地域貢献活動に参加していただき、その活動に取り組むことで高齢者の生きがいづくり・居場所づくりにつなげます。また、シルバー人材センターの市内全域への展開を推進します。					

【具体的な事務事業(H28)】

シルバー人材センター運営費補助事業

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■健康体づくり実践運動登録活動者数: 67人 ⇒ 500人	84人	200人	300人	400人	500人
●生涯スポーツの推進 市民が生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、継続的に健康づくり、体力の向上を目指せるようスポーツの機会を創出します。					

【具体的な事務事業(H28)】

健康体づくり実践運動事業
長崎県民スポーツ祭(県民体育大会)参加事業
五島市体育協会事業費補助金

五島市民体育大会事業費補助金
体育スポーツ振興補助事業

3-(3)インフラ整備プロジェクト

重点事業① 陸上交通の再編・再生

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■路線バス利用者数: 436,705人 ⇒ 440,000人	435,242人	415,073人	420,149人	425,445人	440,000人
■バス路線の再編・統合件数: - ⇒ 7件	-	1件	4件	6件	7件
■交通空白地区における新交通システム導入数: - ⇒ 4件	-	-	1件	3件	4件
<p>●路線効率化と陸路の利便性向上</p> <p>地域公共交通活性化再生協議会において、バス路線の再編・統廃合を検討し、効率化された運営体制の確立を図るとともに、地域が持つ課題や状況に合わせ、乗合タクシーなどの導入を検討します。また、陸路、空路、航路の交通の乗り継ぎ時間帯を調整し、利便性の高い交通体制を整備します。</p> <p>●利用促進策の展開と情報発信強化</p> <p>市民及び観光客などの利便性と満足度の向上を目的に、利用促進策を展開します。また、利用促進策については、広報紙、ホームページなどあらゆる媒体で広く周知し、利用者数の増加を目指します。</p> <p>●スクールバス混乗の推進</p> <p>一般利用者がスクールバスを利用できるよう状況を検証し、制限の緩和を検討するなど、運営の効率化を進めます。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島市地域公共交通再編事業			新生活交通維持事業費補助金(三井楽・岐宿・奈留島・久賀島)		

3-(3)インフラ整備プロジェクト

重点事業② 空路活性化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■空路利用者数: 135,324人 ⇒ 140,000人	131,086人	137,960人	140,000人	140,000人	140,000人
<p>●空路の利便性向上</p> <p>福岡空港路線の維持、夏季・冬季の臨時便の充実を要望するとともに、来島(帰島)時の乗り継ぎの利便性の向上、乗り継ぎ割引制度の拡大、機体の大型化などを要望します。</p> <p>●運賃低廉化の推進</p> <p>離島の不利な条件を解消するため、国境離島新法を活用した事業展開により、運賃低廉化を推進します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
航空会社への要望			長崎県離島航空路線利用率保証補助金		

3-(3)インフラ整備プロジェクト

重点事業③ 航路活性化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■航路利用者数: 484,178人 ⇒ 500,000人	507,772人	495,488人	500,000人	500,000人	500,000人
●航路の利便性向上 航路、陸路、空路の交通の乗り継ぎ時間帯を調整し、利便性の高い交通体制の整備に努めます。また、市営船(前島航路、黒島航路)の民間への運航委託を推進します。					
●運賃低廉化の推進 離島の不利な条件を解消するため、国境離島新法を活用した事業展開により、運賃低廉化を推進します。					
【具体的な事務事業(H28)】					

3-(3)インフラ整備プロジェクト

重点事業④ 地域インフラ整備

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■市道の改良率: 45.7% ⇒ 46.8%	45.7%	46.0%	46.3%	46.5%	46.8%
■橋りょうの補修実施件数: 15件 ⇒ 61件	15件	17件	22件	41件	61件
●社会生活基盤の計画的な維持管理及び改修整備 社会生活の基盤である道路・橋梁、河川・排水施設、公園、住宅、港湾などを、長期的視点に立ち計画的・体系的に維持管理及び改修整備することで、その設置目的と安全性を確保します。また、都市計画道路の見直しなど、中長期的な課題の解決を見据え検討します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
瀬戸・堤線道路整備事業(辺地債)	市営戸楽住宅外壁屋上改修事業	瀬戸・堤線道路整備事業(辺地債)			
田岸～矢神線道路整備事業(辺地債)	中岳北部14号線道路整備事業(合併)	奥浦34号線道路整備事業(合併)			
福江187号線道路整備事業(合併)	久賀7号線道路整備事業(合併)	富江地区(西片町)排水路整備事業(合併)			
居川橋整備事業	柏線5号橋整備事業	柏線6号橋整備事業			
波砂間京ノ岳2号線1号橋整備事業	第2江川橋整備事業	下り松橋整備事業			
清水橋整備事業	中川橋整備事業	福江都市計画基礎調査業務			
県港湾整備事業負担金	県営急傾斜地崩壊対策事業負担金	国県道整備事業負担金			
福江17号線道路整備事業(鳴木場橋拡幅整備)	福江378号線外2路線道路整備事業(辺地債)	市道福江77・80号線道路整備事業(辺地債)			
憩坂線道路整備事業(辺地債)	浦頭・樫ノ浦線道路整備事業(辺地債)	本山32号線道路整備事業(辺地債)			
上大津・鬼岳線道路整備事業(辺地債)	里仁田尾線外4路線道路改修等事業(辺地債)	福江54号線道路整備事業(合併)			
籠淵地区排水路整備事業(合併)	市道側溝・舗装整備事業(合併)	柿ノ木場橋(2号)整備事業			
鳴木場橋整備事業	八本木橋(4号)整備事業	道路橋定期点検事業			

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ごみ1t当たり処理費用: 57,900円 ⇒ 40,800円	57,900円	57,900円	57,900円	57,900円	40,800円
●生活環境施設の更新 ごみ焼却施設は、老朽化が進み、その維持管理に多額の経費を必要としています。 一般廃棄物処理を安定して継続するため、施設を更新します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
福江清掃センター更新事業			海ごみ交流支援事業		

3-(3)インフラ整備プロジェクト

重点事業⑤ 国機関などの誘致

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■誘致に向けた要望件数: - ⇒ 2回	-	-	要望	⇒	⇒
●自衛隊など国機関の誘致 国に対し、航空自衛隊福江分屯基地の拡充、整備を要望します。このほか陸上自衛隊、海上自衛隊の誘致について検討を進めます。また、他の国機関の誘致については、五島の地域資源や産業事情等を踏まえ、県と連携して取り組みます。					
【具体的な事務事業(H28)】					

3-(3)インフラ整備プロジェクト

重点事業⑥ 公共用地の有効活用、公共施設の再編・有効活用

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■遊休資産の売却・貸付による収入額: 19,137千円 ⇒ 40,000千円	13,322千円	25,000千円	30,000千円	35,000千円	40,000千円
●公共用地の有効活用 公共用地の利活用については、総合的な観点から再検討し、遊休資産の現状と課題を明確にした上で、財産の利活用を推進します。					
●公共施設の再編・有効活用 将来を見据えた公共施設のあり方について、その方針や計画を定める公共施設管理計画を策定し、施設の有効活用や整理・統廃合など推進します。					
【具体的な事務事業(H28)】					
五島市公共施設等総合管理計画策定業務					

3-(3) インフラ整備プロジェクト

重点事業⑦ 安全な生活の確保

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■消防出張所改修・改築件数: — ⇒ 5件	—	—	2件	2件	1件
■デジタル式防災無線整備率: 81.4% ⇒ 100.0%	81.4%	81.4%	81.4%	100%	100%
<p>●消防出張所庁舎の整備 老朽化が進む消防出張所庁舎の整備を図り、災害から市民の安全・安心を守る消防防災拠点づくりを推進します。</p> <p>●防災施設の整備 市民の生命と財産を守るため、防災施設などを計画的に更新・改修し、市民の災害への不安を解消します。</p> <p>●交通安全施設などの整備 ガードレールやカーブミラーなどの整備を計画的に進め、交通の安全確保に取り組みます。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
道路交通安全対策事業					

【基本目標4】 五島の宝・子どもが育ち、輝く”しま”をつくる

数値目標	単位	現状	H27	H28	H29	H30	H31	目標	数値根拠ほか
合計特殊出生率	—	1.76 (H26年度)	1.78	1.80	1.82	1.84	1.87	1.87 (H31年度)	人口ビジョンを踏まえた目標
出生数	人/年	250 (H26年度)	240	230	220	210	200	200 (H31年度)	人口ビジョンを踏まえた目標
子育て支援満足度	%	50.5 (H26年度)	52.5	54.5	56.5	58.5	60.5	60.5 (H31年度)	+10%を目指す
教育環境満足度	%	67.6 (H26年度)	68.6	69.6	70.6	71.6	72.6	72.6 (H31年度)	+5%を目指す

4-(1)結婚・出産・子育て支援プロジェクト

重点事業① 出会い・結婚支援

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■ 婚活イベント参加者数: 198人 ⇒ 200人	109人	100人	100人	200人	200人
■ 婚活イベントによる成婚数: — ⇒ 5組	2組	3組	4組	5組	6組
■ 婚活支援団体数: — ⇒ 5団体	—	1団体	2団体	3団体	5団体
● 婚活支援団体などへの支援 市内婚活支援団体や婚活サポーター「縁結び隊」などと連携し、結婚支援体制の確立に取り組み、県の結婚支援事業(ながさきめぐりあい創出事業、婚活講座など)のイベントについても、県と連携し開催します。そして、官民が協力し、若い世代が結婚や子育てに意識を向けるよう、婚活活動に取り組みます。					
● 交流イベントの開催 若者が地域内外の人と出会い、交流できる場を創出し、結婚支援を推進します。					
● 自分磨き事業の推進 結婚に向けて、当事者の意識や考え方を刺激し、結婚を前向きに考えられるように、独身男女のスキルアップ講座、自分磨き講座などを開催します。					
【具体的な事務事業(H28)】					

4-(1)結婚・出産・子育て支援プロジェクト

重点事業② 出産・子育て支援

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■子育て支援員数: — ⇒ 30人	—	13人	18人	24人	30人
■放課後児童クラブなどの設置数: 9箇所 ⇒ 11箇所	9箇所	9箇所	10箇所	11箇所	11箇所
■家庭教育学級等の参加者数: 324人 ⇒ 500人	438人	455人	470人	485人	500人
■4か月乳幼児全戸訪問事業の訪問件数:各年度対象者100%(H27年度226人)	100%	100%	100%	100%	100%
<p>●医療費、保育料に関する軽減策の導入 平成27年4月から多子世帯の保育料の軽減を、また、平成27年10月からこども福祉医療費助成の対象年齢の拡大を実施し、安心して子育てできる環境の充実に取り組んでいます。今後、さらなる子育ての負担軽減を図るため、ひとり親世帯への支援を検討します。</p> <p>●地域人材育成と子育て相談体制の強化 国で定めた「基本研修」及び「専門研修」を実施し、子育てのサポートを行う子育て支援員を育成し、出産・子育てに関する若い世代の不安を取り除くための相談体制を整備します。また、子育てに関する情報を発信するホームページの開設など、相談体制を活用できる環境を整備します。</p> <p>●家庭教育学級等の拡充 出産・子育てに関する若い世代の不安を取り除くため、各小中学校のPTAや乳幼児がいる親たちの学びの場を支援します。また、家庭教育学級等の開催や著名な講師派遣による青少年健全育成講演会への参加を促し、相談できる仲間づくりを推進します。</p> <p>●ワーク・ライフ・バランスの推進 父親の子育て参加を目的に、父親子育て講座(仮称)などを開催し、父親の子育てに対する意識向上を図ります。また、事業所などに子育て環境整備の理解を求め、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進します。</p> <p>●子育て環境の整備 保育所などの増設や、老朽化した施設の改修による保育環境整備を支援し、子どもを安心して育てられることができる環境を整備します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
妊婦・乳幼児健康診査事業	不妊治療費支援事業	離島地域安心出産支援事業費補助金			
乳幼児福祉医療費	子ども福祉医療費	多子世帯における保育料の軽減(私立保育園)			
多子世帯における保育料の軽減(認定こども園)	母子相談・訪問事業	利用者支援事業			
子育て家庭支援事業費	地域子育て支援センター運営事業	児童館運営事業			
放課後児童クラブ運営事業	ファミリーサポートセンター運営事業	認定こども園・保育所施設整備事業			
3世代同居・近居促進事業費補助金					

4-(2)教育のしまづくりプロジェクト

重点事業① グローバル人材育成

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■小学6年生対象英語意識調査(英語が好きな児童の割合): - ⇒ 初回調査+10.0%	86.0%	89.0%	92.0%	94.0%	96.0%
■児童英語検定正答率: - ⇒ 初回検定+10.0%	88.0%	89.0%	91.0%	94.0%	98.0%
■給付型奨学金受給者数: - ⇒ 3人	-	-	3人/年	3人/年	3人/年
<p>●プロジェクトGの推進</p> <p>国の事業を先取りした小学1年生からの英語の学び、小中学校での指導体制強化、ALTなどの人材活用、教材などの開発などを通して一貫した英語教育の充実強化を図り、世界で通用する人材を育成します。</p> <p>●新たな奨学金制度の創設</p> <p>成績が優秀な者に対する給付型奨学金制度の創設など、世界に通用する人材を育成するための新たな奨学金制度を創設します。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
市単独外国語職員(ALT)の雇用事業		語学指導等を行う外国人青年誘致事業			
「プロジェクトG」小学校からの英語習得事業		イングリッシュキャンプ事業			

4-(2)教育のしまづくりプロジェクト

重点事業② 豊かなこころ・ふるさとを誇りに思う子どもの育成

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■地域の課題を捉え、その課題に向け活動する学校数: - ⇒ 8学校	-	-	3学校	6学校	8学校
■不登校児童生徒の割合: 0.9% ⇒ 0.6%	1.1%(速報)	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%
<p>●郷土愛を醸成する人材育成の取り組み</p> <p>郷土の自然や文化、伝統などに接したり、地域の課題を捉え、その解決に向けて活動する過程を通して、郷土を育て発展させるような郷土を愛する心を醸成する人材育成活動を支援します。</p> <p>●個に応じた支援体制づくり</p> <p>不登校や発達障害などの特別に配慮を要する児童生徒に対し、学校や家庭、関係機関との連携を図り、特性に応じた適切な支援を行います。</p>					
【具体的な事務事業(H28)】					
特別支援教育支援員配置事業		「心の教室相談員」配置事業		適応指導教室事業	
特別支援教育総合推進事業					

4-(2)教育のしまづくりプロジェクト

重点事業③ ICT教育の強化

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■全国学力調査の正答率に対する比率: 97.5% ⇒ 102%	97.5%	99.0%	100.0%	101%	102%
■ICT活用頻度(回/週): 2.1回/週 ⇒ 7.0回/週	2.1回/週	4回/週	5回/週	6回/週	7回/週
●ICT教育の強化 ICT教育にかかる人的支援の充実と、ICT機器の整備をさらに進め、「楽しく、分かる授業」を展開し、学習目標の達成と情報活用能力を育成し、学校を好きな子どもを育てます。					
【具体的な事務事業(H28)】 ICT環境整備事業 中学校パソコン整備事業	ICT教育強化事業		小学校パソコン整備事業		

4-(2)教育のしまづくりプロジェクト

重点事業④ 高等学校の機能充実と魅力化の推進

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■高等学校の魅力化への要望件数: - ⇒ 2回	-	要望	⇒	⇒	⇒
●五島南高等学校の魅力化の推進 豊かで温かい地域の支援を受ける五島南高等学校において、学習環境を改善することで、全日制での普通科教育を継続させる体制を整備し、高等学校の魅力化を県教育委員会と協議します。					
●奈留高等学校の魅力化の推進 奈留高等学校については、小中高一貫教育実践校としての特色を活かし、しま留学制度を併せた英語教育の魅力化を進め、島外からの生徒を受け入れます。					
【具体的な事務事業(H28)】					

4-(2)教育のしまづくりプロジェクト

重点事業⑤ 読書に親しむ環境づくり

具体的な施策・主な事務事業・KPI(重要業績評価指標)	工程(年度別事業計画)				
	H27	H28	H29	H30	H31
■図書貸出し冊数(図書館・公民館): 154,074冊 ⇒ 163,000冊	169,886冊	170,000冊	170,000冊	170,000冊	170,000冊
■学校図書館児童1人当たりの月平均貸出冊数(小学生): 17.1冊/月 ⇒ 20.0冊/月	6月調査	18.3冊/月	18.9冊/月	19.5冊/月	20.0冊/月
■学校図書館児童1人当たりの月平均貸出冊数(中学生): 7.1冊/月 ⇒ 10.0冊/月	6月調査	8.3冊/月	8.9冊/月	9.5冊/月	10.0冊/月
●図書館機能の充実 調査研究などの多様な目的に対応できるための図書資料を整備し、市民の教養・文化の向上に資するために、また、児童・生徒の学び場を提供するために新図書館建設に取り組みます。					
●豊かなこころを育む読書の推進 学校図書館においては、学校図書館支援員を適正に配置し、読書による様々な出会いや郷土愛を育む書物に多く触れる機会を提供することで、子どもたちの心を育て、人生をより深く生きようとする力を伸ばします。					
【具体的な事務事業(H28)】 市立図書館建設事業	生きる力づくり読書推進事業				

